

令和6年度第3回秋田市公立大学法人評価委員会会議録

1 日 時 令和6年10月22日（火）10時00分から11時00分

2 会 場 秋田市役所 5階 第2委員会室

3 出席者

【委 員】

平野 浩之 委員長

辻 良之 委員

片桐 大地 委員

根田絵美子 委員

【設置者・評価委員会事務局】

齋藤企画財政部部長、栗林企画財政部次長、小杉山企画調整課長、企画調整課鈴木参事、
企画調整課渡部主任

【公立大学法人秋田公立美術大学】

企画課小松主任

4 発言録

次第1 開会

事務局

ただいまから令和6年度第3回秋田市公立大学法人評価委員会を開会
する。

全委員5名中4名の出席となったが、本委員会条例に規定されている定
足数を満たしていることを報告する。

議事の進行については、議長である委員長にお願いする。

次第2 議事(1) 公立大学法人秋田公立美術大学第3期中期目標について

委員長

次第に従い、議事を進行する。

議事(1)について、事務局から、前回の委員会から修正があった点に関
して説明をお願いする。

事務局

（資料1～資料2について説明）

委員長

ただ今の説明について、ご意見・ご質問があればお願いする。

委員

第4の2（2）若手・女性研究者の採用・育成について、まとめて若手
研究者に変更したとのことだが、女性の活躍の場を広げていき、社会の中
でできるだけ生かしていこうという大きな方向感といった方針が変わっ
たものではない理解で良いか。

事務局	おっしゃる通りで、方針は変わっていない。女性の育成については、第7の中で大学が作成する中期計画の中に盛り込まれることを確認済みであり、「等」という形でまとめさせていただいた。
委員長	女性研究者の割合はどのくらいいるのか。
事務局	だいたい2割くらいはいると思う。
委員長	大体どこの大学でも目標を3割くらいにしており、現在2割くらいであれば、次の第3期中に3割は達成可能なのかもしれないと思う。
委員	一定のKPIというのは上げておいた方がいいと思う。例えばよく言われる、県でもよく出している、男性の育児休暇の取得を何%上げるなど。中期目標に掲げるべきではないと思うが、ある程度内部目標という形で掲げておく必要かと思う。
事務局	大学で検討している計画の中で、働きやすい職場環境づくりの中に、休暇制度の有効活用や取得率向上といった視点も盛り込まれていたもので、本日の内容を大学にも伝え、できるものについては反映していただきたいと思う。
委員	また、P6の働きやすい環境づくりの1行目にある「本領を発揮できる」というのが、漠然としたような印象を受ける。
事務局	個人が持つ能力を発揮できるようにという趣旨で記載したもので、前の項目と少し表現が被ってしまうので、ご指摘のとおり漠然としてはいるが、趣旨としては能力を発揮できるように同じである。
委員長	成案の「保ち」の後は、素案の「能力を最大限発揮できる」という表現の方がいいような気がする。
事務局	大学から、P5の人事制度の内容と表現が重なるため、見直しして欲しいとの意見があり、少し書きぶりを変えたものである。
委員長	この辺になると、言葉の選び方の問題になってくる。 大学では、女性活躍支援などの視点はいろいろ考えており、特に理系の場合は女性の研究者が非常に少ないので、数値目標などを議論する中で「優秀な」という言葉を入れたがる傾向にある。女性だけでなく、その上に「優秀な」を付けると、差別的な話にもなり、そうすると女性という言葉が入らなくなってしまう。大学はやはり研究力や教育力の高い人間を教員として求めており、たまたま選考に上がってきた時に、同じような能力だったら女性を取りましょうというのが結果として起こりうることで、最初から女性ありきと考えると、学術研究の幅がすごく狭まると考えている

教員もいるため、女性という言葉が入るのを嫌がるのはよく分かる。

一方で、東京大学のようなところは、本当に女性研究者、女子学生も少なく、あえてメッセージを出さないといけないところは、部局の反対があるだろうが、強い言葉を出していることもある。

部長

先ほど、ご指摘いただいたことで方針が明確に変わるものではないため、大学が作成する中期計画の中で、こういったご意見を伝えさせていただければと思う。

委員長

それでは、若干ご意見をいただき、大学との関係で軽微な修正等はあるかもしれないが、その修正等については私にご一任いただければと思う。原則としてこの成案でよろしいか。

(異議無し)

委員長

今後、市長に委員会の意見を提出する運びになるため、仮に大幅な修正等があった場合には、また各委員の方にご連絡させていただくことになるかと思うが、そうでなければ私の方と事務局と処理させてもらえればと思う。以上で本日の議事を終了したので、進行を事務局にお返しする。

次第3 その他

事務局

本日も審議いただいた第3期中期目標は、市長に答申後、11月秋田市議会定例会で議決を求め、議決後、大学法人に指示する。

次回の評価委員会は、来年1月に開催し、大学が作成する第3期中期計画(案)や今後の評価委員会の開催方法などを審議いただく予定であり、開催に先立ち、11月中旬以降に委員会の日程調整に合わせ、あらかじめ第3期中期計画(素案)に対するご意見・ご質問をお伺いしたいと思うのでご理解・ご協力をお願いします。

次第4 閉会

事務局

これをもって、令和6年度第3回秋田市公立大学法人評価委員会を終了とする。